

発言通告書 <総括表>

平成17年 第2回 定例会 一般質問

発言者	発言事項	発言要旨	答弁を求める者
1 小林たかや議員	一、動物との共生ルールづくりについて  一、鳩の糞害について  一、ストリートパフォーマンスの実態と広場等の管理について  一、千代田区版 “ヘブンアーティスト制度。”について	ドックラン広場と子どものキャッチボール広場の設置を求める。 震災時に動物や動物を飼育する家庭の避難場所についての対策を講じるべき。 動物との共生していくルール、「千代田区ルール」を都心区として先駆けて作成してはどうか。 区は「ドバト」の糞害について実態を把握しているか。「ドバト」の糞害は区民の日常生活や健康を害するばかりでなく、今後観光都市を目指す千代田区にとっても歴史的な建造物や施設を糞で汚されては来訪者を心地よく迎えることも叶わない。「ドバト」の糞害に対する見解と対策は、秋葉原などで行われるストリートパフォーマンスで近隣者が困っている実態を把握しているか。再開発によってあらたに生み出された広場等はどうのように管理するのか。  東京都は“ヘブンアーティスト制度。”をつくり都民の芸術文化に対する新しいこころみを行っている。区はその実態を把握しているか、この政策についてどのように評価し、どう考えるか、地域文化・芸術の振興策として千代田区版 “ヘブンアーティスト制度。”を作成してはどうだろうか。千代田区ルールを作ることで違法ストリートパフォーマンスを規制できるし、手軽で身近に芸術・文化に親しめる場を提供出来るのではないかと。この制度を導入すれば芸能人招聘の経費負担の捻出する解決策になるし観光資源としても有効ではないかと。	区長並びに係理事者
2 小山議員	廃校校舎の管理と利用について	・千校小学校は本当に使用不可能なのでしょうか？ ・廃校校舎の管理について 「校舎のアダプト制度」の提案 ・地域の核である避難所はどうあるべきか ・区有財産活用懇談会について	区長及び関係理事者
3 寺沢議員	住民のためのごみ減量とは	容器包装リサイクル法改正にむけて 発生抑制につながる拡大生産者責任を明らかにした法整備を求めるべき 自治体として区民に実状をもっと知らせる必要があるのではないかと 家庭ごみ有料化で本当にごみは減るのか 地方自治法227条違反ではないかと 不法投棄の呼び水になる 資源回収の拡大や戸別収集を伴わないやり方ではごみは減らない 有料化の前に自治体を取り組むべきことは何か	区長及び理事者
4 林議員	ごみ 抜き取りと トラブルと 不法投棄と	資源ごみ(古紙などの)を無断で抜き取る業者とのトラブルに際して対応策は？ 抜き取り業者への見解は？ ごみの不法投棄についての注意の徹底をどうはかるのか？ 今後のごみ問題に対する方向性は？	区長並びに係理事者
5 松本議員	次世代育成支援行動計画の中の「子どもの居場所づくり」について	本区における次世代育成支援行動計画のなかで、「安心して子育てできるまちをつくる」の中の子どもの居場所づくりが多様なメニューで実施されています。保護者・子ども側からより選択しやすいアドバイスがうけられるような窓口の一元化の対応をされてはいかがでしょうか	区長ならびに担当理事者
6 嶋崎議員	区の危機管理意識と態勢・行動について	1 JR西日本福知山線脱線事故の事後対応を対岸の火事としないための対策は 2 区民が安心できる「区の危機管理態勢」とはどのような姿であると認識しているか 3 昨年来の災害等から多くの教訓があったが、職員の危機管理意識の醸成は出来上がっているのか、また、危機意識啓発の具体策はどのようなものか 4 土曜日曜、夜間に発生する危機管理は十分か	区長並びに係理事者
7 飯島議員	(仮称)富士見一丁目計画について  子ども医療費助成の拡充について	1) 計画の内容について 施設に含まれる「地域活性化機能」とは何か すでに提出されている地域要望はいつ、どのように検討されるのか PF方式を導入することについて 2) こども園について いずみこども園の現状をどのように認識しているか、3年間の検証をまず行うべきではないかと 総合規制改革会議では、「株式会社が幼稚園を設置できるようにすること」「幼保総合施設は幼稚園、保育園のいずれか規制の緩い方の水準以下とすべき」と提案しているが、区長の見解を求める。 「区独自の児童手当」と性格の異なる医療費助成の拡充を切望する子育て世代の声に応えることを重ねて求める。	区長並びに係理事者
8 鈴木議員	介護保険制度の見直しについて  区内に3つめの特養ホームの建設について	政府が介護保険制度の「見直し」として国会に提出した「介護保険制度関連法案」の審議が参議院で行われている。「見直し」といえば、制度をよくなる方向で検討するのが当然だが、今回の法案は介護にたいする国の財政負担抑制を口実に高齢者の介護サービス利用を制限し、大幅な国民負担増を押しつけるものになっている。区長の見解を問う  千代田区内には、一番町特養ホーム82床、かんだ連雀特養ホーム55床、あわせて137床が整備されていますが、05年5月末現在で入所申請をしている方が100数十名にのぼっています。入所待ちの本人・家族のみならず、区民にとって身近な区内に3つめの特養ホームの実現は、切実な要求になっています。区として、具体的な検討が必要になっています。区長の見解を問う。	区長並びに係理事者
9 大串議員	1、地域情報化への取り組みについて  2、文化芸術プラン推進にあたって  3、子どもの読書推進策について	地域情報化に対するビジョンを問う 今後の具体的な進め方は (仮)千代田区地域情報化計画の策定を提案する、所見は。  文化芸術プラン推進にあたっての基本的な考え方、また特徴は何か、子どもに関係する代表的事業は、  具体的な子どもの読書推進策は、	区長並びに係理事者
10 河合議員	海外の学校とのITネットワーク構築による「国際化」「国際理解教育」の実践とインタ ネットを活用した双方向ライブ英会話教育の実施について。  インターナショナルな子供を育てる為に  千代田に家族で住居を持たせる為に	国際都市千代田区にふさわしい、こども園から義務教育終了までの英語教育・英会話教育の必要性について、ブロードバンド・スクール化が実施されている本区の特性を生かし、ITを活用した海外とのライブ双方向による英会話授業の実践。  世界とのコミュニケーションはインターネットによって飛躍的には発展していく、ネット公用語である英語は益々重要な言葉になっていく、ライブカメラの使用により、24時間交流を海外の学校と実施し、海外の雰囲気や映像や音で感じられる環境をインターネットを活用し整備する。遊びを通じて交流し、はだで海外を知る。  千代田の英会話授業の確立が「教育と文化のまちちよだ」をより強力に全国にアピールする材料になり、結果、英語教育に関心のある家族の千代田区定住に寄与する。	区長並びに係理事者